

環境モデル都市 円卓会議 会議録

部 会 名	ISOのまちづくり円卓会議		記入者	池崎(市役所)
開催回数	第7回			
開催日時	平成22年3月8日(月)13時30分～14時50分			
開催場所	市役所秋葉2階ラウンジ			
出 席 者	所属	名前	所属	名前
	推進委員・ISO監査委員	齋藤 潔	地域婦人会	前田チヅ子
	推進委員・校長会	齋所敬三	推進委員・青年会議所	荒木
	市商工観光振興室	水田	水俣さくら保育園	山田誠次
	市教育総務課	岩井	市環境モ推進課	川野・池崎
	出席者 計 9名			
欠 席 者	山海館(旅館)	松永	商工会議所	小嶋
	水俣高校	佃 隆樹	ごみ減量女性連絡会議	大迫紘子
	市環境対策課	一期崎		
欠席者 計 5名				
内 容	1. 前回の確認：会議録参照。 環境モデル都市関係事業の報告：建築から廃棄の段階まで、環境にやさしい ①エコモデルハウス上棟式：製造から廃棄の段階まで ②自転車市民共同利用システム運用開始式： ③環境モデル都市推進委員会の開催：2月22日に環境モデル都市推進委員会が開催された。 円卓会議やモデル都市関係事業の進捗状況の報告や、環境基本計画について委員から意見をもらった。			
	2. 家庭版ISO(印刷版)の確認 事務局：エコダイアリーが先月完成し、これから配布を行っていこうというところ。 3月1日の市報にも掲載している。また、市役所1階ロビーに机とポスターを設置して、来庁者向けの呼びかけも始めた。 職員に対しては、課長会議でエコダイアリーの紹介と登録願いをして、各課への登録呼びかけを開始するところである。 4月の本格的な開始に向けて、準備をしていきたい。			
	進行役：内容のいいものができても、使ってもらえなければ意味がない。市職員にはぜひ、市民の手本として登録をお願いしたい。 義務教育期間に学校版ISOと連携して取り組んでもらうことについては、今後教育委員会や先生、PTAと相談していければ。 年に700世帯の登録目標に向けて、ぜひ市役所や学校、諸団体をお願いをして、頑張っていきたい。			
	事務局：このエコダイアリーは、円卓会議で皆さんの意見をいただけてきたもの。前回、最終確認もしていただいた。まずは登録してもらうことが第一だと考えている。			
	青年会議所：市報以外にも、各メディアに取り上げてもらったらどうか。 登録の前に、まず知ってもらわなければ。この取組を全国にも発進していけたらよい。			
	事務局：機会をつくって取材してもらえるようにしたい。 また、学校側との調整は、4月に入ってからしたいと考えている。			
	齊所：皆さんと協議していいものができた。あとは、実行する中ででてくる苦情や意見などを拾いあげて、改善していきたい。			
	進行役：モニターも募集する予定なので、そこで意見などを聞いていきたい。 コンテストの内容についても、今後検討していく必要がある。			
	青年会議所：			
	●家庭版ISOの内容について 前回の円卓会議で出た意見を参考に改正した家庭版ISO(案)を見て、自由に意見をもらった。【次ページ参照】			
・冊子は、表裏をカラーにして、3000部(4年分)作成する。 1つの冊子で2年分記録し、比較できるようにする。 ・最終案を作成して送るので、確認してもらいたい。 ・CO2の補正係数は、県内の市町村と比較できるよう、熊本県の数値を用いる。				
3. 諸連絡 事務局)環境モデル都市フェスタには、ぜひ参加をお願いしたい。また、前日の夜には、基調講演を務めていただく枝廣さんや、パネルディスカッションに参加いただく首長を招いての交流会も企画している。こちらの方も、ぜひ参加をお願いしたい。 推進役)数年前に行われた十字路会議にも参加したが、大変面白かった。隣り近所お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。 MPA-)新型インフルエンザが治まったかと思いきや、また患者が出始めた。手洗い・うがいの励行に気を付けてください。 モデル都市の市民意識は高いといわれるが、地区によって差がある。大切なのは、行動力と実践力である。それをどう高めていくのが課題だと思われる。 そのことを前向きに考えてくれるモニターが必要であるし、こちら側でも何らかの形でモニターに返していけるような仕組みを考えていく必要がある。				
次回開催日等	平成22年1月18日(月)13:30～ 場所は追って連絡する。			

内 容	●家庭版ISOの内容について (表紙) ・家庭版ISOの名称=<u>みなまたエコダイアリー</u> ・日付を記入する横に <u>(2ヶ年用)</u> と入れる。 ・氏名は、<u>家族名またはファミリー名</u>とする。 (p.1) 家族の役割分担について ・家族の役割分担に<u>例を入れる</u>。 (p.4~5) 記録用紙について ・<u>一ヶ月分の記入例を入れる</u>。 ・「項目」と「計」が明確になるように、「<u>軽油</u>」と「<u>計</u>」の間の<u>枠線を太く</u>する。 ・注意書きの3番目に、<u>CO2排出量の計算方法を追記</u>する。 (p.6) グラフ ・グラフの見出しを、「<u>CO2排出合計量及び使用量総額</u>」とする。 ・記入例を追加する。 ・グラフ左側のCO2排出量の単位を (t) から <u>(kg)</u> にする。また、<u>上限値を1万として目盛り</u> <u>を追加</u>する。
-----	--

環境モデル都市 円卓会議 会議録

部 会 名	ISOのまちづくり円卓会議		記入者	池崎(市役所)
開催回数	第7回			
開催日時	平成22年3月8日(月)13時30分～14時50分			
開催場所	市役所秋葉2階ラウンジ			
出席者	所属	名前	所属	名前
	推進委員・ISO監査委員	齋藤 潔	地域婦人会	前田チヅ子
	推進委員・校長会	齋所敬三	推進委員・青年会議所	荒木
	市商工観光振興室	水田	水俣さくら保育園	山田誠次
	市教育総務課	岩井	市環境モ推進課	川野・池崎
	出席者 計 9名			
欠席者	山海館(旅館)	松永	商工会議所	小嶋
	水俣高校	佃 隆樹	ごみ減量女性連絡会議	大迫紘子
	市環境対策課	一期崎		
欠席者 計 5名				
内 容	1. 前回の確認：会議録参照。 環境モデル都市関係事業の報告：建築から廃棄の段階まで、環境にやさしい ①エコモデルハウス上棟式：製造から廃棄の段階まで ②自転車市民共同利用システム運用開始式： ③環境モデル都市推進委員会の開催：2月22日に環境モデル都市推進委員会が開催された。 円卓会議やモデル都市関係事業の進捗状況の報告や、環境基本計画について委員から意見をもらった。			
	2. 家庭版ISO(印刷版)の確認 事務局：エコダイアリーが先月完成し、これから配布を行っていこうというところ。 3月1日の市報にも掲載している。また、市役所1階ロビーに机とポスターを設置して、来庁者向けの呼びかけも始めた。 職員に対しては、課長会議でエコダイアリーの紹介と登録願いをして、各課への登録呼びかけを開始するところである。 4月の本格的な開始に向けて、準備をしていきたい。			
	進行役：内容のいいものができても、使ってもらえなければ意味がない。市職員にはぜひ、市民の手本として登録をお願いしたい。 義務教育期間に学校版ISOと連携して取り組んでもらうことについては、今後教育委員会や先生、PTAと相談していければ。 年に700世帯の登録目標に向けて、ぜひ市役所や学校、諸団体をお願いをして、頑張っていきたい。			
	事務局：このエコダイアリーは、円卓会議で皆さんの意見をいただけてきたもの。前回、最終確認もしていただいた。まずは登録してもらうことが第一だと考えている。			
	メンバー：市報以外にも、各メディアに取り上げてもらったらどうか。 登録の前に、まず知ってもらわなければ。この取組を全国にも発進していけたらよい。			
	事務局：機会をつくって取材してもらえようにしたい。 また、学校側との調整は、4月に入ってからしたいと考えている。			
	進行役：皆さんと協議していいものができた。あとは、実行する中ででてくる苦情や意見などを拾いあげて、改善していきたい。			
	進行役：モニターも募集する予定なので、そこで意見などを聞いていきたい。 コンテストの内容についても、今後検討していく必要がある。			
	●家庭版ISOの内容について 前回の円卓会議で出た意見を参考に改正した家庭版ISO(案)を見て、自由に意見をもらった。【次ページ参照】			
	・冊子は、表裏をカラーにして、3000部(4年分)作成する。 1つの冊子で2年分記録し、比較できるようにする。 ・最終案を作成して送るので、確認してもらいたい。 ・CO2の補正係数は、県内の市町村と比較できるよう、熊本県の数値を用いる。			
3. 諸連絡 事務局)環境モデル都市フェスタには、ぜひ参加をお願いしたい。また、前日の夜には、基調講演を務めていただく枝廣さんや、パネルディスカッションに参加いただく首長を招いての交流会も企画している。こちらの方も、ぜひ参加をお願いしたい。 推進役)数年前に行われた十字路会議にも参加したが、大変面白かった。隣り近所お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。 メンバー)新型インフルエンザが治まったかと思いきや、また患者が出始めた。手洗い・うがいの励行に気を付けてください。 モデル都市の市民意識は高いといわれるが、地区によって差がある。大切なのは、行動力と実践力である。それをどう高めていくのが課題だと思われる。 そのことを前向きに考えてくれるモニターが必要であるし、こちら側でも何らかの形でモニターに返していけるような仕組みを考えていく必要がある。				
次回開催日等	平成22年1月18日(月)13:30～ 場所は追って連絡する。			